

核家族化やICT化の進展など子どもを取り巻く状況が大きく変化中、明日の滋養を担う子どもがたくましく生きる力を育むことが求められています。学校教育への期待が高まる中、複雑化、多様化する課題への対応が学校現場に集中し、教員の熱心な取組や負担で支えられたこれまでの学校業務のあり方は、一方で学校現場の長時間勤務という形で表れており、子どものための学校を実現するために看過できない状況となっている。

教員が誇りや情熱を持ち続け、その使命と職責を遂行し健康で充実して働き続けることができるよう、学校現場における働き方を変えていく。

○ 働き方改革で目指す学校の姿

